



みつけ通信

〒927-1222

珠洲市宝立町鶴飼丑部 83 番地

TEL 0768 (84) 1106・1119

教育目標：ふるさと宝立の自然や人に学び たくましく生き抜く子の育成

探究力を育む

校長 時兼 秀充

校門の紅梅も満開を迎え、一層春色が濃くなりました。復旧作業が進まず、発災当時と変わらない状況の中で、自然の猛威と共に自然の豊かさを感じます。



一月一日の能登半島地震は、私たちの想像を遙かに超えた大きな被害をもたらし、自然の猛威の前では人間は無力であることを痛感させられました。そして、この状況は、私たちに「予期せぬ未来を生きる」ということを改めて認識させてくれました。

一方で、全国から駆けつけてくれた、消防、警察、自衛隊、HuMAをはじめとする医療関係、ボランティアの方々のたくましさや優しさに、私たちは強く支えられました。学校にも全国から支援の手や激励の声が数多く届けられました。また、避難所のスタッフの皆さんや、本校を卒業した先輩たちが、率先して避難所で活動している頼もしい姿を見て、勇気と希望をいただきました。そして、私たちに一人じゃない、人は人と出会い、人から学び、共感しながら共に生きるという視点を与えていただきました。

学校と避難所の共存はなかなか難しいと言われます。そのような中で子どもたちが落ち着いて学習をしたり、地域の方にもご列席いただきながら卒業式、6年生の修了式を行うことができたりと、厳しい環境の中でも3学期を無事終えることができました。改めて支えていただきました多くの皆様に、深く感謝申し上げます。

さて、私たちが生きる近未来は、予想できない事態が、急速な技術革新とグローバル化の中で起こってきます。そのとき一人の人間として、困難や課題あるいは、今回の地震のような事態に置かれたときに、どのように対処し、直面する課題を解決していくかが問われています。そして、その正解のない答えを導き出していく力が「生きる力」であり、それを支えるのが「探究力」です。本校がこれまで脈々と進めてきた「ふるさと珠洲科」の学習は、まさに「探究力」を育む学習であり、その成果を実感しているところです。さらにこの学習を発展させるためには、「多様性」についてもとらえ直していく必要があると思います。子どもたち一人ひとりには、素晴らしい可能性を秘めた個性の塊です。互いにそれを認めた上で、多様な「知」を結びつけて新たな価値を創造していく、「優か劣か」ではなく「それぞれどんな特徴があり、どうつなげて価値化していくか」といった「多様性」の追究が「探究」の質を向上させるのではないかと考えます。子どもたちのあらゆる可能性を伸ばすために、教職員一丸となって頑張りますので、今後とも保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力、ご支援をよろしくお願い致します。

最後に、3月31日をもって役職定年となります。宝立町の皆様には、教員生活の半分である19年間もお世話になり、たくさん支えていただきました。そんな宝立町で役職定年を迎えることを、とても光栄に思っています。特に避難所となったこの3ヶ月間は、私にとってとても濃い日々であり、本当にたくさんの方に支えられていることを実感する毎日でした。これまで支えていただいた保護者や地域の皆様に心からお礼申し上げます。ありがとうございました。

◇9年生の巣立ち **全校児童生徒**

3月12日(火)、宝立小中学校第8回卒業証書授与式が本校体育館で行われました。1ヶ月前までは支援物資でいっぱいでしたが、卒業式にあわせて物資を減らしていただき実施することができました。

式の前には地震の犠牲になられた方々に黙とうをささげました。式辞では、「自然の猛威の前で人間は無力だが、全国から支援に来た人たちのたくましさや優しさに支えられたこと」を述べ、「復興には長い年月と人の力が必要であり、卒業生には、是非ふるさと珠洲を愛し、支える人材となり、復興の一翼を担ってくれることを願う」とエールが送られました。

答辞では、代表の大畠さんが「私たちは1人ではない。たくさんの人に愛されていること、支えられていることを実感したこと、全国からの支援者や被災しながら復旧に励む地元の人の姿に“元気と勇気をももらった”」と感謝を述べていました。

今年は、地域の方々も列席した中での卒業式となり、たくさんの方々に見守られながら、10名の卒業生が学び舎を巣立っていきました。



◇6年生修了を祝う会 **前期課程**

3月21日(木)、13名の6年生修了を祝う会が行われました。これまで下級生のために活躍してくれた6年生へ感謝の気持ちを込めて、児童と教職員でお祝いをしました。第1部は修了証書授与式で、6年生全員が礼儀正しく返事をし、証書を手にし、後期課程に向けての目標を力強く述べていました。第2部では、各学年による出し物が披露され、6年生への感謝の思いを伝えることができ、素敵な祝う会になりました。



◇終業式、修了式 **全校児童生徒**

3月22日(金)、3学期の終業式と令和5年度の修了式がありました。修了式では、前期・中期各ブロックの代表者が修了証書を授与され、来年度に向けて力強く決意を述べ、勇ましさを感じるとともに気持ちが引き締まる式になりました。



「私たちは一人ではない！ たくさんの人に愛され、支えられている」特集

◇本校卒業生からの贈り物！

2月7日(水)、岐阜県から本校卒業生の中新地(右下写真の左)さんの紹介で炊き出しに来ていただきました。今回2回目であり、小学生がリクエストしたカツ丼やチョコバナナなどたくさんいただきました。また、プロ民謡歌手の竹野留里さんにもお話していただき、その場で子どもたちのリクエストにも応えて歌っていただきました。とても素敵な歌声で、子どもたちの心も癒やされ、元気をいただきました。本当にありがとうございました。



◇HuMA特別授業

2月15日(木)に前期課程、16日(金)に後期課程で、災害人道医療支援会(Humanitarian Medical Assistance)のメンバーの方々に特別授業をしていただきました。

HuMAの皆さんは、宝立小中学校の避難所で活動をしていました。全国各地から集まった皆さんが活動している様子をお聞きした後、1～4年生が実際に「医者」「看護師」「調整員」「スタッフ」に分かれて、急に具合が悪くなった患者(患者役は本校教諭)を想定して救助活動を行いました。1～4年生がみんなで力を合わせて協力する姿をここでも見る事ができました。急に具合が悪くなった患者も1～4年生の姿を見て、とても元気になり回復しました。



16日には、引き続きHuMAの皆さんに授業をしていただきました。最初の講義では、甲斐理事長からHuMAの活動紹介や災害支援とはどのようなものなのか、平等と公平の違いなど、活動や支援のあり方などをお話していただき、様々なことを学ぶことができました。私たちも社会に貢献できる力をつけていかなければならないと改めて感じるお話でした。また、本校の保健室前に置いてある陰圧感染隔離室も見学させていただきました。室内の空気や空気感染する可能性のある細菌が外部に流出しないように、気圧を低くしてある陰圧室の仕組みを聞き、驚いていました。とても学びの多い時間となりました。HuMAの皆さんありがとうございました。



◇救助犬“ロジャーくん”

空飛ぶ捜索医療団・緊急支援チームによる「災害救助犬とその案内をするハンドラーさんのお仕事」について教えていただきました。

災害救助犬のロジャー君は児童が隠れている段ボールを捜索し、児童を発見すると「ワン！」と吠えることでハンドラーさんに人がいることを伝える訓練の様子も見せてもらいました。姿が見えなくても対象者を見つけ出すロジャー君の様子に、児童からは歓声と拍手が起こっていました。空飛ぶ捜索医療団・緊急支援チームの皆様、ありがとうございました！



【多くの団体さんより義援金をいただきました！】

宮城県 山元町立山元中学校	宮城県 やまもと語りべの会
山元町立山下小学校	富山県 南砺つばき学舎
山元町立山下第一小学校	愛知県 南知多町立日間賀小学校
山元町立山下第二小学校	神戸市中学校長会
山元町立坂元小学校	他県・石川県校長会
石川県教職員組合	教職員共済生活協同組合
宝立若連中	女性校長・教頭会
きずな基金(珠洲市校長会)	石川県教頭会

計 919,250円

充実した学校教育を行うために、大切にに使わせていただきます。ありがとうございました！

◇職場と児童生徒・職員のケアに！

1月16日(火)から3月18日(木)まで、兵庫県の教職員が組織する震災・学校支援チームEARTHの皆さんに、毎週学校に来ていただき、施設等の整理整頓・整備や授業の支援に尽力していただきました。

また、文部科学省や県教育委員会ご推薦のスクールカウンセラーの方々にも来ていただき、児童生徒や職員と面談しながら心のケアに努めていただきました。おかげで、少しずつ学校らしさ、児童生徒と職員の元気を取り戻すことができました。ありがとうございました。なお、4月からもお世話になることとなります。よろしくお祈りします。

宝立小中学校の行事予定や様子など、ホームページで随時更新しています。「みつけ通信」で掲載できなかった行事や様々な行事の動画も掲載しています。ぜひご覧ください！

◇転出者・転入者の紹介

◎お世話になりました。

校長：時兼 秀充（輪島市東陽中へ）
 教諭：野口 幹太（県立小松高校へ）
 教諭：小林 亮太（珠洲市緑丘中へ）
 講師：今村 青空（退職）
 支援員：谷内田さやか（珠洲市緑丘中へ）

◎よろしくお祈りいたします。

校長：倉見 淳（能登町小木中より）
 教諭：藤田 大介（能登町能都中より）
 教諭：南 安寿香（能登町能都中より）
 講師：平元 ひな（新卒）
 講師：濱高 直希（輪島市三井小より）
 支援員：前根優美子（正院小より）
 調理師：高野 雅美（緑丘中より）
 調理師：矢野 晶子（緑丘中より）

4月の行事予定

1	月	職員会議
2	火	職員会議
3	水	
4	木	7年生を迎える会・入学式準備
5	金	新任式・始業式・入学式
6	土	
7	日	
8	月	校外子ども会発足
9	火	身体計測
10	水	
11	木	
12	金	
13	土	
14	日	
15	月	交通安全指導 読書ボランティア
16	火	
17	水	石川県学力学習状況調査 全国学力調査質問紙調査（後期） 市学力調査
18	木	全国学力学習状況調査 市学力調査
19	金	全国学力調査質問紙調査（前期）
20	土	
21	日	
22	月	
23	火	9年生修学旅行（～26日）
24	水	小中別集会 小クラブ
25	木	
26	金	9年生修学旅行（最終日）
27	土	
28	日	
29	月	市春季ソフトテニス選手権
30	火	授業参観 PTA 総会・学級懇談会（予定）

改めて多くのご支援（義援金・応援メッセージ・物資等）をいただきました！ おかげで元気と勇気をいただきました。本当にありがとうございました。これからも復旧・復興に向けて、児童生徒・保護者の皆様・地域の皆様とともに頑張っていきたいと思います。そして「あいどる+下足」を軸に『挨拶あふれる・愛される学校』を目指します。